

布田えみ

寒さが身にしみる季節となりました。皆さんも、睡眠、食事、休息を大切にしながら、体調管理に気を配りましょう。再開された各地での季節のスポーツや芸術文化活動も活気にあふれています。どうぞ皆さんも、心豊かで健やかに初冬の季節をお楽しみください。



ハナトピア岩沼が生まれ変わります!!

平成 10 年にオープンしたハナトピア、多くの市民皆さんに愛されてきた産直市も 12 月 24 日をもって閉店となります。長い間、農業関係者様、お支え下さった皆様ありがとうございました。新たな施設は令和 8 年度のオープン予定、私もより使いやすく多くの方が集える拠点となる様、花育・木育・食育の視点と市民参画型の事業が展開できるよう支援してまいります。

空の駅 Iwanuma to the World

対談

岩沼市議会議員

参議院議員

布田えみ × 石垣のりこ

東北の空の玄関口、仙台（国際）空港。

新型コロナウイルスの影響で運休していた国際線が、昨年末から再開されました。こらからの仙台（国際）空港を拠点とした地域の活性化について、石垣のりこ参議院議員と対談しました。

岩沼から世界へ



現在、岩沼市は、仙台空港南側の県有地に空港周辺にぎわい創出と新たな魅力作りを目指して、民設民営の施設「空の駅（仮称）」の整備を進めています。具体的には、飛行機の離発着を眺めながら食事をしたり温泉に入ったり、広場で遊んだりできるような施設です。



臨空地ならではのメリットを生かして、ということですね。仙台空港の旅客数は年間およそ 385 万人（2019 年）で、将来的に 550 万人を目指しているということで、大きな可能性がありますね。



そうなんです。国内外の多くの方が仙台空港を利用しているのに、空港が立地する岩沼市は通過点になってしまっているのは勿体無いですし、もっと岩沼市の魅力を発信できて、かつ、地元の皆様が楽しめる施設となるように 2026 年度内完成を見込み検討が進められています。



全国的に地方は少子高齢化に人口減少という厳しい現実を抱えており、交流人口を増やすことは一つの方策だと思います。一方で、地元の皆さんが日常的に利用できて基本的なところは地域が支えられる施設であることが、経営の継続という点でも重要なのではないでしょうか。

災害対策から地場産品まで 岩沼市の新たな魅力を創造する



導入すべき施設については、地元の方たちからのアンケートも反映されていて、「地場産品が買えるお店」や「キッズスペース」はじめ、「スカイラウンジ」などのご意見もありました。今後は、そうしたご意見をもとにまとめた基本計画に基づいて、事業者の公募が始まります。災害対策やバリアフリー化も含め、誰もが使いやすい施設にしていく必要があります。まずは、市民の皆様に計画の進捗状況をお伝えし、いただいたご意見を議会質疑にも反映させていきたいと思っています。



民設民営ということですが、地元に資する施設にするために、立地自治体として岩沼市の責任も大きいですね。岩沼市の魅力が感じられる場所になるように、私も「地域主権」の視点から注目していきたいと思います。



www.fuda-emi.net

岩沼市議会議員

布田えみ

えみレポート

日頃の活動はブログ「日刊えみレポート」にてご報告しております。

ネットラジオ始めました！

Q ほぼえみチャンネル



11月議会報告

岩沼市議会議員布田えみ

4期16年の議員活動の中で、毎回議会一般質問も行ってきました。今回もこれまで取り上げてきた提案に関して、その後の進捗状況についての提言を行っています。

▶生活環境整備推進状況について ▶▶▶

男性用サニタリーボックス設置状況について



えみ：男性特有の前立腺の疾病で治療を受けた方々も、元気に仕事や活動をされています。市民会館や他の公共施設等、多くの市民に利用される場所は、早急なサニタリーボックスの設置を望み、使用後の処理に悩まないよう、安心して外出できる環境づくりを願っていますがいかがでしょうか。

産業道路（二木地区）街路樹伐採について



えみ：交通安全確保のためには、産業道路や竹駒神社西側の信号機のない横断歩道（下り車線側）での街路樹伐採が急務です。歩行者からは「車が止まってくれない」、運転者からは「横断歩道で待つ人が見えにくい」との声が寄せられており、早急な伐採が交通安全確保の観点から必要とされていると考えますがいかがでしょうか。

岩沼市の回答

現在設置している公共施設は、市役所（議会棟含む）、図書館、玉浦及び西コミュニティセンターの4箇所でその他の施設の設置計画はないですが、施設管理者が状況を見ながら進めています。

岩沼市の回答

横断歩道から10メートル以内は見通し確保の安全対策も必要です。早急に（伐採の）対応を進めています。

▶いわぬま市民交流プラザ内チャレンジショップについて ▶▶▶



岩沼駅にも近い市民交流プラザは、地の利もよく、多くの市民皆さんにイベント開催、サークル活動、展示開催などに活用されています。1階にはチャレンジショップスペースもあり、創業支援目的で活用されてきました。

現在、空いている状態が目についており、勿体無い、と感じます。

開催要項の見直しと新たな活用方法

えみ：開催要項の見直しなどを行い、「ワークショップ開催」「市民団体等の活動資金捻出のためのバザー開催」「近隣の学校の就労体験を兼ねた販売会」「教室としての活用」も視野に入れてはいかがでしょうか。



岩沼市の回答

開催要項の見直しや検討を行い、柔軟に対応できるようにしていきます。今後、これらの提案を視野に入れ、施設の活用方法を多様化する方針で進めています。

1階スペースの活用に関する提案

えみ：現在、1階スペースは、放課後を過ごす子ども達の利用が多く見られ、特に夕方からは、中高生が学習する姿も多くあり、青少年の居場所としても活用されています。今後、チャレンジショップ新規申込みなどが困難な場合には、スペースを取り（縮小）、テーブルや椅子を増やして、交流スペースとして活用することも検討してはいかがでしょうか。



岩沼市の回答

現状の利用状況や市民の意見を踏まえつつ、有効な方法を検討していく方針です。



市民皆さまが安心・安全に暮らせる岩沼のために、皆さまのお声をどうぞ、布田えみにお寄せ下さい。

岩沼市議会議員 布田えみ事務所

〒989-2448 宮城県岩沼市二木1-4-1-17

TEL:0223-22-0982 FAX:0223-22-0896



立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル7F

Tel.03-3595-9988 Fax.03-3595-9088

CD
P

立憲民主
RIKKEN MINSHU

号外